



ニュースリリース
報道関係者各位

2018年10月24日
ゾーホージャパン株式会社

無料・無期限で使える “クラウド型グループウェア” サイボウズLive難民200万人を救う データも簡単に移行

世界規模のユーザーを持つ「Zoho Connect」 新機能 10月24日提供開始

ゾーホージャパン株式会社（代表取締役：迫 洋一郎、本社：神奈川県横浜市、以下、当社）は、2019年4月15日にサービス提供を終了する「サイボウズ Live」のデータを、当社が提供するクラウド型グループウェア「Zoho Connect」に移行できる新機能「サイボウズ Live データのインポート機能」を、本日2018年10月24日（水）から無料で提供を開始します。

■Zoho Connect サイボウズ Live 移行専用サイト: <https://www.zoho.com/jp/connect/cybozu-live-alternative.html>

新機能では「サイボウズ Live」上の登録情報を専用画面から3ステップで「Zoho Connect」にインポートでき、サービス切替時のデータ移行の手間を大幅に低減します。「Zoho Connect」は、「サイボウズ Live」の基本機能である“チャット”、“イベント”、“ToDo リスト”、“掲示板”、“共有フォルダ”に相当する“チャット”、“予定”、“タスク”、“フォーラム”、“ファイル”の機能を備え、最大15グループまで人数/期間の制限なく無料で利用できます。

さらに、「Zoho Connect」の独自機能として、マニュアル作成や独自アプリ作成によるデータの蓄積、通話やファイルの共同編集による共同作業、他社サービス連携なども同時に利用できます。これにより、「サイボウズ Live」上の既存のデータを手間なく移行できるだけでなく、グループ内でのコミュニケーション方法の幅が広がり、さらには、コラボレーションの場としても利用価値の高いグループウェアを実現します。



■200万人超の「サイボウズ Live」難民のスムーズなデータ移行を無料で支援

今回の新機能では2019年4月15日にサービス提供が終了すると発表された「サイボウズ Live」のデータ移行が手間なく行えます。『Zoho Connect』は「サイボウズ Live」のサービス提供終了発表後からその代替となるグループウェアとして問い合わせの数も増えています。

ゾーホージャパンは200万人を超える「サイボウズ Live」ユーザーに対して、ゾーホージャパンの持つ無料のグループウェアを代替サービスとして提供することに大きな社会的意義を感じ、専用の新機能「サイボウズ Live データのインポート機能」を開発しました。グローバルサービスである「Zoho」に地域限定的な専用機能を開発することは異例の対応でした。

「サイボウズ Live データのインポート機能」は、サービス切り替え時にかかるデータ移行作業の手間を軽減します。本機能の提供開始に伴い、データ移行手順や両サービスの機能の共通点/相違点を解説する「サイボウズ Live → Zoho Connect 移行ガイド」も提供します。

移行後は 15 グループ以内であれば、「サイボウズ Live」と同等の機能を備えた「Zoho Connect」無料プランを利用できます。さらに、40 を超えるサービス群を提供する「Zoho」の特長の 1 つである多様なサービス間連携により、同一の「Zoho アカウント」で無料メールの利用、チャットや音声・動画による通話、ファイルの共同編集、マニュアル作成、独自アプリの作成なども可能です。チャットやフィード、フォーラムやマニュアル、独自アプリなど、グループ内でユーザーがその都度目的に合った連絡方法を柔軟に選択でき、コミュニケーションを円滑に行えます。さらに、他社サービスとの連携も可能でデータ共有の幅も広がります。

■ 10/24 開催のイベント「Zoholics」にてサービスデモを実施

10 月 24 日（水）に横浜で開催されるユーザーコミュニティイベント「Zoholics（ゾーホーリクス）」にて新機能のデモを実施します。本イベントでは、インド本社より来日する Zoho Connect プロダクトマネージャーに直接質問や意見交換ができる他、ユーザー講演や Zoho Connect の機能や活用法を解説する講演（基本編／応用編）も実施します（<https://zoholicsjapan.zohobackstage.com/ZoholicsJapan2018#/?lang=ja>）。

「サイボウズ Live データのインポート機能」 概要

■ 移行可能データ

サイボウズ Live	→	Zoho Connect
メンバー	→	ユーザー（Zoho にアカウント登録）
グループ	→	グループ
イベント	→	予定（フィードにも投稿）
ToDo リスト	→	タスク
掲示板	→	フィード*
共有フォルダ	→	ファイル**

■ 制限事項

- ・ 掲示板データは該当グループのフィードに移行します
- ・ インポートできるファイルは画像ファイルのみです
- ・ チャットの履歴は移行できません

■ 利用料金

無料（無期限）

※無料プランで利用できるグループ数は 15 まで
15 グループを超える場合は有料プランを利用可能

■ 利用方法

専用サイトから Zoho アカウントに無料登録の上、
3 ステップのガイドに沿って操作します。
※詳しい手順は、移行ガイドを参照可能。

サイボウズLiveからZoho Connectに データを移行できます。

表示される手順にしたがうと、グループとデータをインポートできます。



サイボウズLiveにログイン

■ Zoho Connect サイボウズ Live 移行専用サイト: <https://www.zoho.com/jp/connect/cybozu-live-alternative.html>

「Zoho Connect」移行によって広がる機能

- ・フィード
- ・共有範囲の柔軟な制御
- ・通話/ビデオ会議
- ・ファイルの共同編集
- ・カンバン形式のタスクボード
- ・マニュアル作成
- ・独自アプリ作成
- ・サービス連携

※機能の詳細は専用サイトをご参照ください。

■「Zoho Connect」について

無料から使えるビジネスチャット&グループウェア「Zoho Connect」は、組織内や外部の関係者のコミュニケーションとコラボレーションを支援します。国内では、一般の方からNPO、組合や協会、教育機関、様々な業種の一般企業の方まで数千ユーザーに利用されています。15 グループまで利用可能な無料プラン、ストレージ容量や管理機能などを強化した有料プランから選べます。iOS/Android 専用モバイルアプリも利用できます。



■Zoho Connect サービスサイト URL : <https://www.zoho.com/jp/connect>

■Zoho Connect 活用イメージ動画 : https://youtu.be/-pVlcunuH_8

■会社概要 URL: <http://www.zoho.co.jp>

ゾーホージャパン株式会社は、ワールドワイドで事業を展開する Zoho Corporation Pvt Ltd. (本社：インド タミル・ナドゥ州チェンナイ CEO : Sridhar Vembu) が開発/製造したネットワーク管理開発ツールや企業向け IT 運用管理ツール、企業向けクラウドサービスを日本市場に提供すると同時に関連するサポート、コンサルティングなども提供しています。業務改善/生産性向上を支援する企業向けクラウドサービス群「Zoho」は、世界で 4,000 万人を超えるユーザーに利用されています。国内では 40 種類以上の業務アプリケーションを 1 セットで利用できる「Zoho One」を始め、顧客管理「Zoho CRM」やグループウェア「Zoho Connect」を中心にユーザー数を増やしています。2017 年 4 月、「コールセンターの設置」、「テレワーク推進による働き方改革」、「地方創生（雇用促進・女性活躍）」の 3 つの目的のもと、元駐在所を町から借り受け、「川根本町サテライトオフィス」（静岡県榛原郡川根本町東藤川 1013-1）を開設しました。

ゾーホージャパンのなかみ（経営企画特設サイト） : <https://insidezj.zohosites.com/>

川根本町サテライトオフィス紹介動画 : <https://youtu.be/nnX1SiKgdMM>

Zoho について : <https://www.zoho.com/jp/aboutus.html>

Zoho の哲学 : <https://www.zoho.com/jp/perspectives/>

＜本件に関するお問い合わせ先＞

ゾーホージャパン広報事務局 担当:原田（はらだ）

TEL : 03-5411-0066 FAX : 03-3401-7788

携帯 : 080-3121-4241 メール : pr@netamoto.co.jp